



どろんこスクール

どろんこ園

代表 黒川 奈緒子 さん

団体紹介

どろんこスクールは、大柿町大原のどろんこ園（森のようちえん部）の開園日である火・水・木曜日以外の月・金曜日に週1回、どろんこ園や中町のフリースクールとこま舎で、小中学生から大人までが過ごしています。

活動内容

『こどもたちのこれからの新しい学びを実践する場所』です。「こどもたちに自主性をもって!と言うのなら、まず、大人もやってみましょう」ということで、自分は何をしたいのか、そのためにどうしたいかを自分で考えて、自分の行動を自主決定する。みんなの対話で進めながら、大人もこどもも育ち合っています。

考える→やってみよう→失敗or成功体験→どう感じたか→次はどうしたいのか。トライ&エラーを繰り返しながら、様々なことに挑戦しています。

活動への思い

「これからの学び 既存の学校という枠からもう一歩進んでみよう」ということで、スクールの「ル」の次は、五十音順で「レ」なので、スクールという名前がつけました。

皆さんに一言

スクールってどんなことをしているのか興味のある方は、いつでも見学に来てみてくださいね。お家や学校以外の、もうひとつのみんなの居場所です。



おおばらかぞくや食堂

かぞく家

代表 為政 伸彦 さん
為政 愛子 さん

団体紹介

月1回、大柿町で「おおばらかぞくや食堂」という地域子ども食堂を運営しています。また、今年5月からは、週1回、大柿高校の生徒・教職員の方向けに弁当販売も行っています。

おばあちゃん家のようにくつろいで過ごせる居場所づくりを目指し、いろんな人と食卓を囲むことが世界平和につながると信じて活動しています。

活動内容

毎月第3金曜日午後5時30分から、月に1回開催している地域食堂です。食事の場を通して、こどもから高齢者まで、また、移住者や外国人など、地域に暮らす多様な人たちが「同じ釜の飯を食う」ことで、世代を超えたゆるやかなつながりを育んでいます。食材は、地元の農家さんなどから提供いただいたものを活用し、手づくりの温かい晩ごはんを安価に提供しています。運営は、私たちの他に、プラチナ大学で出会った地域の方々や、県立広島大学のYELLのメンバーたちと協力して行っています。

活動への思い

誰でも気軽に立ち寄れる、多世代が集える場づくりを意識しています。

また、近隣の小学校や高校などとも連携し、こどもたちが地域への愛着を育むきっかけとなることを目指しています。

そして、何より「おいしいごはんを食べたい!」という思いが原点です。安価な提供やボランティア活動であっても、味や見た目にはできる限りこだわって提供しています。

皆さんに一言

今年10月の開催で、月1回の開催を始めてからちょうど3年が経ちました。続けてこれたのは、来てくださる皆さんはもちろん、食材を提供してくださる方々、応援してくださる地域の方々のおかげです。

毎回のメニューは、その時にいただいた野菜を中心に考えていますが、改めて振り返ると、江田島市だからこそ季節のとれた野菜をふんだんに使った食事が提供できていると感じます。

これからも、誰もが気軽に来られる温かい地域の食堂をつくっていきたくです。興味のある方は、是非、遊びに来てください。調理ボランティアも大歓迎です!

採択団体の取組を紹介

子育て支援課 ☎0823-42-2852

江田島市こどもの居場所づくり事業助成金

この助成金は、こどもの健やかな成長又は幸せな状態の向上に資するための環境整備を図ることにより、こどもの居場所づくりを推進する活動に対し、交付するものです。

今年度から事業を開始し、当初の募集では5団体から応募申請を受け、いずれの団体も採択されました。

今年度の採択団体

- 1 NPO法人 ワンシード
- 2 どろんこ園
- 3 かぞく家
- 4 子育てカフェ
- 5 大柿高校市民サポーター「柿高Fly」

随時募集

12月12日(金)まで、江田島市こどもの居場所づくり事業助成金に係る随時募集を行っています。交付を希望される団体又は個人の方は、市ホームページに掲載している『募集要項(随時募集)』を確認の上、応募申請を行ってください。

ご不明な点があれば、子育て支援課までご相談ください。



▲市 HP



団体紹介

オハナヴィレッジ「こころの居場所プロジェクト」では、自然の恵みを感じられる古民家〈オハナヴィレッジ〉を拠点に、こどもたちや地域の人たちが、安心して心をひらける場所を育てています。季節の手しごとや自然の中での遊び、ゆったりとした対話や絵本の時間などを通して、大人もこどもも、ともに心を整え、自分らしくいられる時間を大切にしています。

活動の内容

江田島市大柿町にある古民家施設〈オハナヴィレッジ〉を拠点に、自然に包まれた静かな環境の中で、こどもたちが安心して自分らしく過ごせる“心の居場所”をつくります。こどもたちの健やかな心の成長を支えるとともに、地域全体でこどもたちを見守るあたたかな環境づくりを目指します。

計画しているイベントは、季節の手しごとワークショップ(野草摘みと草木染め、海辺の漂流物でアートづくり、発酵食づくり、しめ縄作り、リース作り)、ガーデンや地域の野菜を使ったごはんの調理と食体験、こころのワーク(こども向けに絵本、人形劇、塗り絵、大人向けにマインドフルネス瞑想、対話会)などがあります。これらのイベントのふり返りから、新たなリクエストに応じていきます。

活動への思い

こどもたちが、ありのままの自分でいられる時間や場所を持つこと。それは、心の根っこを育てる大切な土壌だと、私たちは考えています。地域の大人たちもまた、こどもたちとふれ合いながら、学びや癒しを受け取り合えるような、あたたかな循環を目指しています。

皆さんに一言

オハナヴィレッジに、是非、遊びに来てください。

一緒に火を囲んだり、ごはんを作ったり、草木で色を染めたり。きっと、あなたの中の「やさしさ」や「わくわく」が再び目を覚まします。



「こころの居場所」プロジェクト
～オハナヴィレッジで育む、
安心とつながり～

NPO 法人 ワンシード

代表理事 菊田 富 さん

民生委員・児童委員名簿

12月1日に3年に一度の民生委員・児童委員の斉改選が行われました。本市の委員定数はこれまでの103人から98人になりました。**任期は令和7年12月1日～令和10年11月30日の3年間**で、見守りや相談役、行政や関係機関とのつなぎ役として活動に取り組みます。

●**民生委員・児童委員は、地域で生活する誰もが安心して生活できるよう暮らしを見守るボランティアです。**

●**民生委員・児童委員には、守秘義務があり、相談内容を他の人に漏らすことはありません。**

氏 名		担当区域		氏 名	担当区域		氏 名	担当区域	
江田島地区				米原 正純	鹿川	尾 登	瀧口 明	深江	向井・須の元
佐々木光子	中央	中 郷	黒小由紀子	中町	宮山・長石1.2.3	松村加代子	小古江	余防	
長谷川俊司		中 郷	川谷 秀嗣		長石上・中・下	調整中		峯ヶ迫・郷・東沖(一部)	
調整中		向 側	徳田 裕二		沖前・沖後・黒張住宅	調整中	大原	水畑・西沖(一部)	
調整中		向 側	川霜 彩子		迫田・宮山の一部	新田 眞弓		泉崎・大坪・横瀬・浜ノ内	
山崎 茂		矢ノ浦	木戸 里司		大 後	爲政 伸彦		高名津・堀	
横手まゆみ		山 田	小西多加子		麓	平岡 眞一		大又・薬師・横尾・馬場・山内	
梶本 典子	鷺部	鷺 部	片平 優子	見 浪	上田 博隆	峯・坪の鼻・平畑・堂様・寺の下			
加川有紀子		鷺 部	宇根 民子	高下・水野元	調整中	平田・河内・大原坊地・新河内			
問芝久美子		鷺 部	古居美恵子	前田・清瀬地・名高地・下井田	平井美津子	東沖(平田山を含む)			
調整中	江南	江 南	高林 美枝	高田	沖北・沖南・南	調整中	大君	西沖・畑田	
調整中		江 南	竹下 幸子		間所・原	平原 美鈴		東・西・南・北	
小松 義昭	秋月	秋 月	向井 秀則		空・中・畑	平本 裕司		久保田・横走・泉	
調整中		秋 月	間所 秋枝	小方・宗崎	君本 洋子				
貝塚 正次	小用	小 用	永田久美子	能美全域	主任児童委員	調整中	柿浦		
調整中		小 用	木葉 良子		主任児童委員	山本 和恵			
新本 孝子		小 用	沖美地区			空 敏江		阿浜・楠田・北迫・西北迫・胡子・下岡・西常道・清水・港・柿浦坊地	
中下 勇	切串	小 用	槌家 和子	三高	榎原・原・鍵や谷	山本 修司			
筧本富美子		切 串	水戸佳代子		中島路・大附・古戸・千城原	小道 邦子			
花野 榮子		切 串	川尻 博文		柳之前	末中 友博			
高田 幸子		切 串	船谷 七草		柳之前	出海 照征			
森下なおみ		切 串	水口 順子		柳之前・高祖	堀尾 正子			
調整中	大須・幸ノ浦	大須・幸ノ浦	調整中	高 祖	向井百合子	飛渡瀬	内海		
板垣 慈潤	津久茂	津久茂	調整中	美 能	大段 一敏		長谷・清水谷・中講(一部)		
岡村あかね	宮ノ原	宮ノ原	調整中	是長	是長 1		寺尾 則子	外海	
岡村美佐子		宮ノ原	空久保 貢		是長 2	黒川 政好	中講		
杉本 敏久		宮ノ原	濱岡 正子	畑	畑県道より上	重川 忠道	大柿全域	豊沙門原・大盤・内海(一部)	
大松 宏昭	江田島全域	主任児童委員	兵間 博文		畑県道より下	沖元 成寿		主任児童委員	
西野 眞波		主任児童委員	米田 健二	岡大王	岡	●「調整中」の地区は、民生委員・児童委員が不在の地区です。 ●委員の連絡先などお問い合わせは、社会福祉課 ☎0823-43-1638 までご連絡ください。			
能美地区			河合 吾郎		大王県道より上				
江濱 禮子	鹿川	東浜1・2・3・大矢(一部)	泊野 康子		大王県道より下				
京峰イツミ		東浜4・5・6	大越 眞弓	主任児童委員					
小滝 強		郷上・郷後	花崎 直子	主任児童委員					
藤田 恒彦		郷下・郷前	大柿地区						
鎌田 哲彰		中郷・鬼崎・原	沖井 敬子	深江	中・浜				
室元 文雄		荒神・樋守・西浜・大矢	樋上 梢		大崎・二田(一部)・空(一部)・新開				
米原 弘子		前浜・中浜	調整中		二反田・空(一部)				

団体紹介

会場は、大柿町飛渡瀬の妙覚寺です。月に1回、子育てを通じた地域貢献活動をするために、約8年前に立ち上げました。

活動の内容

未就園児と保護者を主な対象に、絵本の読み聞かせ、季節にちなんだ工作やクッキング、食事などの交流の場を提供しています。こどもや保護者の交流を深め、こどもに新たな体験をしてもらい、子育てのリフレッシュを目的として、気軽に立ち寄ることができ、こどもや大人が安心して過ごすことができる居場所づくりを行っています。

活動への思い

子育ての大変な時期に、親子でいつもと違う場所でゆっくり過ごす時間をもっていただき、リフレッシュしたり、一緒に子育てを楽しむ時間になるように、また、交流の輪が広がることを願い、活動しています。

皆さんに一言

自由にのんびりと過ごしていただいています。気兼ねなく遊びにきてください。準備の都合上、申し込み制にしております。お申込みは子育てカフェ公式ラインかお電話で承ります。お待ちしております。

飛渡瀬 妙覚寺 ☎0823-57-2319



子育てカフェ

子育てカフェ

代表 長坂 恵理子 さん

団体紹介

「大柿高校を応援したい!」、「高校生と関わることで地域を盛り上げたい!」と、今年3月に集まった市民でグループを立ち上げました。サポーター活動には、ちびっ子から大人まで参加しています。

活動の内容

差し入れ交流会として、月1回、大柿高校の生徒と教職員を対象に、無料カフェを提供しています。おやつや飲み物を楽しみながら、リラックスすることが目的です。学校や生徒のニーズを聞き、生徒活躍の場を地域に開ききっかけにもなっています。

その他の活動では、朝の挨拶運動、授業参観や学校行事への応援、インターネットラジオ収録体験、生徒がデザインした幟旗やステッカーの制作、大古夏祭りステージ出演などがあります。

活動への思い

学校、家庭の他にくつろげる「第三の居場所 (サードプレイス)」の場づくりを大切にしています。

活動の中で、生徒たちの自己表現やチャレンジを引き出すような対話の機会を持っています。

自然豊かな江田島市の旬の食材や果物の提供で季節を感じてもらい、手づくりの楽しみを分かち合えるよう工夫しています。

高校生が羽ばたくツールのひとつになったらいいなと願っています。

皆さんに一言

島に高校があることは、とても魅力的なことです。

生徒たちが地域で安心して教育を受けることができます。学校を核とした地域コミュニティの強化につながります。学校と地域が連携することで、生徒たちは多様な視点を学び、地域への愛着や社会貢献意識が高まります。地域経済の活性化を目指すことができます。

みんなで島の高校、「大柿高等学校」を大切に守っていきませんか。



大柿高校市民サポーター
「柿高Fly」

大柿高校市民サポーター「柿高Fly」

代表 勝又 阿利紗 さん